

四国森林管理局入札等監視委員会審議概要

(ホームページ掲載日：令和4年8月18日)

開催日及び場所		令和4年6月29日（水曜日） 四国森林管理局 2階A会議室		
委員		中内 功（弁護士） 白山 晃嗣（公認会計士） 府川 一（税理士）		
審議対象期間		令和3年10月1日～令和4年3月31日		
審議対象案件		97件 うち、1者応札案件 64件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
抽出案件		11件 うち、1者応札案件 6件 (抽出率 11%) (抽出率 9%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件 (抽出率 -%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	2件 うち、1者応札案件 2件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型指名競争	該当なし
			工事希望型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
	業務	一般競争	2件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型競争	該当なし
			簡易公募型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約	公募型プロポーザル	該当なし
			簡易公募型プロポーザル	該当なし
			標準型プロポーザル	該当なし
			その他の随意契約	1件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
	物品・役務等	一般競争	4件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	該当なし	
		随意契約（企画競争・公募）	該当なし	
		随意契約（その他）	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
	(特記事項)		なし	

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問それに対する回答等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「大菅山林道災害復旧測量・設計業務」については、緊急随意契約により契約を行っているが、どのようにして契約相手方を選定したのか。 ・ 「祖谷山林道笹谷線災害復旧工事（翌債）」については、入札が不落であったことから、応札があった1者のみに不落随意契約の意思確認を行ったとのことだが、不落であったのであれば複数の者に意思確認をすべきではないか。 ・ 「祖谷山林道笹谷線災害復旧工事（翌債）」については、予定価格が1億円を超える工事にもかかわらず、競争参加者が1者のみなのはなぜか。 ・ 調査・設計等業務のうち、「地すべり機構調査業務」については、競争参加者が1者しかないのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常の公告により入札を行うと入札までに1ヶ月半から2ヶ月ほどの期間を要するため、豪雨等の災害により緊急的に調査・設計等業務を実施する場合には、前年度末に公募により予め選定し登録しておいた、災害復旧調査事業委託対象者から見積書を徴取し、見積価格が最も低い者と契約を締結している。 ・ 入札が不落・不調であった場合は再度公告を行うのが原則だが、当該工事の施工箇所は、冬季には1m以上の積雪があり、再度公告を行うとなれば工期を十分に確保できなくなるため、入札執行者（森林管理署長）の判断により不落随意契約に移行することとした。 ・ 当該工事の施工箇所が、標高1,000mを超える場所に位置していることに加え、道路事情も非常に悪く大型車の通行も難しいといったことから競争がなかったものと考え。 なお、今回参加いただいた者については、この近辺で治山工事を数多く行っており、立地的にも詳しいといったことから参加いただけましたものと考え。 ・ 本業務については、専門性が非常に高く、事業の実施に当たっては、事業者がこれまで調査を実施していくなかで得た「地すべりの動き方」に関するデータの蓄積及び解析等といった技術的な要素が重要であると考え。 また、本業務は、継続調査も多く、その地域の特性やこれまでの地すべりの状況が分からないなかでの新規の参加は難しいのではないかと考える。
	委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し森林管理局長が講じた措置]	特になし